

作文4・5・6年の部

【最優秀賞】

私達の農業

常盤小学校 五年 緒方 閃

日本の農業は、古くから続いています。それぞれの時代の中で、私達が食べて生きていくために、たくさんのお野菜が作られてきました。また、害虫に強いものや、季節の変化にたえられるものなど、色々な改良が進んできました。

私の家の畑でも、毎年春から夏、そして秋にかけて色々な野菜が育てられています。その年によって、よく育つ野菜はちがいます。じゃがいもが全然育たない年、トマトがたくさん育つ年、カタツムリやいも虫のような害虫に食べられてしまった年もあります。そんな中で実った野菜を使った料理は、大変おいしいと思います。

以前、埼玉で生活していた時と比べると、今生活している飯山市は全く環境がちがいます。緑が多い中で農業を身近に感じ、生活の中で野菜をたくさん食べる毎日が変わってほしいと思います。

毎年、ニュースを見ていると大きな自然災害が起きます。地球温暖化などの環境問題が原因の一つだと思います。自然災害が起きると、農業は大変な被害を受けます。大切な農業を守っていくためにも、まずは身近にある良い自然環境を守って、たくさんのお野菜が

【優秀賞】

じゃがいもほり

泉台小学校 五年 川口 晴久

ほくの家では、おじいちゃんとおばあちゃん、毎年キュウリやトマトやナスなど、いろいろな野菜を作ってくれています。ほくがその中で一番好きなのが、じゃがいもです。なぜかという、おじいちゃんがやってくれた焼きいもや、おばあちゃんがやってくれたフライドポテトやポテトチップスがおいしくて大好きだからです。

ほくは去年、家族みんなでじゃがいもほりをしました。ほくは土の中にあるいもを探してほったり、ほつたいもを運んだりしました。いもがたくさんあって、探すのに苦労しました。すずしい朝から始めたのに、暑くて汗をいっぱいかきました。さらに運ぶときにも重くてとっても大変でした。

家で作るフライドポテトやポテトチップスは、あげたてでカリカリ、ホクホクしています。早く食べたくて、おばあちゃんがいる台所にいつつまみぐいを何回もしています。

ほくは、大好きなフライドポテトやポテトチップスを食べるには収かくだけでもこんなに大変なんだということが分かりました。でも、おじいちゃんとおばあちゃんには収かくだけではなくて、植えるところから始めて、草とりや水やりなど、大きくなるまでお世話をしています。それはじゃがいもだけでなく他の野菜も同じです。おじいちゃんとおばあちゃんがいっしょに書い中、大切に育てたり収かくしてくれたりするおかげで、ほくは新鮮でおいしい野菜が食べられていることに気がつくきました。

だから、ほくは作ってくれた人に感謝の気持ちをおぼえず、大切に食べる事ができるよつにしたいです。そして、おじいちゃんとおばあちゃんのお苦労がへらされるように、ほくももつと手伝いをしたいと思いました。

【優良賞】

農業について

泉台小学校 六年 山室 橙矢

農業は、とても楽しいことだとほくは思います。その理由は、いくつもあります。

一 目は、収かくすることが楽しいからです。ほくの家の畑には、様々な野菜が育てられています。スッキーニやピーマン、トマトなどです。その野菜を収かくするのを、ほくは、手伝いました。ピーマンを収かくするときは、妹と協力してやりました。協力して収かくすることが楽しかったです。

二 目は、育てることが楽しかったからです。ほくが保育園児のころに、田んぼに行くと田植えや稲の収かくを手伝いました。おいしく育ててねと思いをこめてやりました。思いをこめてやったから、楽しかったです。

三 目は、収かくした物を食べる事が好きだからです。自分たちで、収かくして食べる、すっごくおいしかったです。自分で収かくして、良かったなあと思います。それに、父や祖父に、育ててくれてありがとうと言いたくなりました。自分で収かくしたものを食べるのが楽しかったです。

ほくは、この三つの中から農業は楽しいことだと思いました。農業は楽しいことなので、大人になっても続けていきたいと思えます。それに、農業はとっても大切です。なので、ほくも、手伝ったり、野菜を育てたりしていきたいです。